

特別史跡加曽利貝塚新博物館基本計画の検討状況について

1 経 緯

R 元	6 月	令和元年度第 1 回千葉県史跡保存整備委員会開催 (「新ガイダンス施設基本計画」を 3 月までに策定することを説明)
	12 月	令和元年度第 3 回千葉県史跡保存整備委員会開催 (「新博物館基本計画」の中間報告)
R 2	3 月	<u>令和元年度第 1 回千葉県文化財保護審議会開催</u> (「特別史跡加曽利貝塚新博物館基本計画」の検討状況について報告)
	4 月	展示体験計画の追加検討に着手
	6 月	「新博物館基本計画(素案)」とりまとめ
	7 月	令和 2 年度第 1 回千葉県史跡保存整備委員会開催 (「新博物館基本計画(素案)」の諮問)
	11 月	計画策定スケジュールの見直し (3 月末までに中間取りまとめを行い、庁内の調整や市史跡保存整備委員会の答申等を経て、令和 3 年末までに策定・公表する)

2 計画策定スケジュール見直しについて

7 月の諮問以降、史跡保存整備委員会で基本計画の審議を進める中で、下記の新たな指摘がなされたことを踏まえ、令和 3 年度にさらなる追加検討を行うこととした。

【指摘事項】

◎事業計画を中心とした内容で、どのように整備・運用するのかの議論が十分でない。

◎コロナ禍で経済情勢が不透明になったことも踏まえ、これまでグランドデザインで示してきた集客のための事業構想についても、改めて、より具体化する必要がある。

【追加検討事項】

◎従来方式・デザインビルド方式など整備方式について検討するとともに、民間活力を導入した運営手法の検討を行う。

◎新博物館の整備と併せて進める加曽利貝塚周辺（縄文の森ゾーン、水辺ゾーン）での集客事業の展開に向け、民間事業者へのサウンディング調査等を実施し、特別史跡グランドデザインに基づく事業の全体構想をより具体化する。

3 今後のスケジュール

R 2	3 月	基本計画中間取りまとめ
	4 月～	追加検討着手 庁内調整、ワークショップでの意見聴取
	秋頃	千葉県史跡保存整備委員会 答申 基本計画策定・公表

